

2025年2月10日  
公益財団法人イオン環境財団

## 第2回イオンSATOYAMAフォーラム開催

みんなで考えつくる ～新しいSATOYAMA（里山）～

公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田 元也 イオン株式会社 取締役兼代表執行役会長以下当財団）は、2月18日に国連大学ウ・タント国際会議場にて「第2回イオンSATOYAMAフォーラム」を開催します。

当財団は、1990年に日本で初めて地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として設立され、アジアを中心とする世界各地で環境活動を展開しています。

2020年より複数の大学と連携し、SATOYAMA（里山）の再生や保全・利活用に取り組んでいます。

本フォーラムは、各大学との活動状況を広く報告する目的で、2023年12月に第1回を開催し、今回は、未来に向けた「みんなで考えつくる～新しいSATOYAMA（里山）～」をテーマに開催いたします。連携している各大学・自治体をはじめ多様なステークホルダーがそれぞれのアプローチでとらえたSATOYAMAの課題から意見交換を行います。

当財団は、いのちあふれる美しい地球を次代に引き継ぐため、今後も新たな里山づくりをはじめとする環境活動に積極的に取り組んで参ります。

### 【概要】

テ ー マ	みんなで考えつくる ～新しいSATOYAMA（里山）～
開催日時	2025年2月18日（火） 10:00～15:00
開催会場	（会場）国連大学 3階 ウ・タント国際会議場 東京都渋谷区神宮前5-53-70 （オンライン）Zoomウェビナー
参加大学	京都大学、国連大学、千葉大学、東京大学、東北大学、早稲田大学（五十音順）
プログラム	第1部 10:10-11:30 ・宮崎県綾町のSATOYAMAづくり事例発表 （宮崎県綾町、JA綾町農業協同組合、綾町ユネスコエコパーク推進室、早稲田大学） 第2部 12:20-13:50 ・SATOYAMAに関わる研究や実践内容の発表 （京都大学フィールド科学教育研究センター） ・新しいSATOYAMAづくりに関して各大学からの事例発表（参加大学） 第3部 14:00-15:00 ・SATOYAMAの未来に関する意見交換・パネルディスカッション（参加大学）
主 催	公益財団法人イオン環境財団
後 援	環境省・国連大学サステイナビリティ高等研究所

以上

ご参考

## 【イオンSATOYAMAフォーラム申込方法】

以下からお申込みください。

- ・二次元コード SATOYAMAフォーラム特設ページ



イオン環境財団

検索

(イオン環境財団ホームページ <https://www.aeonkankyozaidan.or.jp/> )

### ■申込締切り日

2月18日(火) オンライン参加

## 【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也(イオン株式会社名誉会長相談役)により、日本で初めて地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として、1990年に設立されました。以来多様なステークホルダーの皆さまとともに「植樹」「助成」「環境教育・共同研究」「顕彰」の4つの事業を中心に活動を実施しています。現在は、持続可能な地域の実現を目的に新たな里山づくりにも取り組んでいます。

## 【これまでのイオン環境財団と各大学との主なフォーラム】

### ■イオン未来の地球フォーラム

東京大学と連携し、地球環境の変化やそれに伴って生じる問題の解決方法や、実行策を考えるフォーラムを開催しました。2017年から2021年の5年間、のべ40名のスピーカーが登壇し、約3,800名が参加しました。

### ■イオン東大里山ラボ 里山シンポジウム

2022年3月、東京大学未来ビジョン研究センターと連携し、自然と調和した健全な人間社会を目指し新たな里山づくりを目的に「イオン東大里山ラボ」を設立しました。2022年3月と2023年2月のシンポジウムでは、里山の活動とフレイル予防活動を連携させることにより、健康で幸福な長寿生活が地域貢献に結びつき、地域の持続可能性を創出するモデルについて議論しました。

### ■AEON TOWA リサーチセンター 里山シンポジウム

早稲田大学環境総合研究センターと連携し、時代に即した環境課題の解決を目的に2020年に「AEON TOWA リサーチセンター」を設立しました。2022年3月に第1回、2023年1月に第2回のシンポジウムを開催。「多世代で語る共に育つ里山」をテーマに、大学生・専門家が里山について各活動地での研究で得た知見をもとに、活動地の自治体関係者を交えて議論しました。



第2回イオン東大里山ラボ  
里山シンポジウム



第2回 AEON TOWA リサーチセンター  
里山シンポジウム